

2019年3月6日

2019年度「都市と環境（II）」（都市空間政策特論第6）シラバス（案）

トータルコーディネーター：古米弘明

教員：亀卦川幸浩、栗栖 太、中島典之、中谷隼、古米弘明

火曜6限（18:40-20:05）・火曜7限（20:10-21:35）

□ 講義の目的

持続可能な都市の形成のためには、安全かつ快適な都市環境および生活環境を将来世代にわたって創造していくことが必要になる。いまや多様な環境問題を把握した上で都市のプランニングを行うことがいまや必須となっている。そのような環境問題の今日的な課題、計画技術・工学技術の修得を「都市と環境」講義シリーズの目的とする。全体を2部に分け、第2部である本講義では大気・熱環境と都市環境リスク・廃棄物を主として対象とする。

□ 講義項目

1. 都市と大気・熱環境

- (1) 大気・熱環境問題の特徴（亀卦川）6月11日6限
- (2) 大気・熱環境問題のメカニズム（亀卦川）6月11日7限
- (3) 大気・熱環境汚染の制御と対策技術（亀卦川）6月18日6限

2. 都市環境リスク・廃棄物マネジメント

- (1) 日本の廃棄物行政（中谷）6月18日7限
- (2) 廃棄物の処理及びリサイクル技術（中谷）6月25日6限
- (3) 都市水環境と生態系影響評価（中島）6月25日7限
- (4) 土壌・地下水の汚染と浄化（栗栖太）7月2日6限
- (5) 豪雨と都市浸水リスク（古米）7月2日7限

□ 理解すべき事項

都市活動が大気環境に与える影響と大気中での汚染物質の挙動、また人工排熱と地表面の改変によって生じるヒートアイランドの形成と対策を理解する。循環型社会を目指した廃棄物の管理についてその基礎を学ぶ。さらに、豪雨に伴う都市における浸水リスクや都市活動に伴う環境汚染のリスクや生態系への影響およびその評価を学ぶ。

□ 成績評価

下記の3つのレポート課題群から、2つの課題を選び、提出すること。

成績は、レポートと出席状況を加味して評価する。

課題1：亀卦川分、課題2：中谷分、課題3：中島・栗栖太・古米分

課題提示：7月5日（金）、レポート締め切り7月31日（水）